

平成24年 5月31日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
代表者名 金子昌義 (印)
(総務部会長 橋本肇)

記

細河地域活性推進事業

事業の内容	①みどりの郷 案内所 維持管理 継続事業 活性推進
事業実施前の状況	①細河協議会の事業はほとんど中長期計画に従ってのまちづくりです。 案内所である以上、来訪者も多く常に常駐担当者が在籍が必要。 野菜即売会、福祉弁当の配達、定期総部会等の会議で事務所の使用回数がフルに使っております。
事業の効果	①常設事務所を設置している為、光熱費などはコピー機・パソコン・レジスター エヤコン・電話・fax等光熱費の高騰は他の協議会には見られないほど あります。 ②事務設置のお陰で協議会以外の方でも気軽に訪問される方が多くあり 地域コミュニティには十分役立っております。
今後の課題	①常設事務所を設けている協議会と何もない協議会で会議必要時に コミセン等を借りる協議会にも均一文書費10万円では不公平です。 常設事務所を設置した協議会には家賃・光熱費等別途に予算を追加し 協議会本来の目的である地域コミュニティ促進しなければならない。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 金子昌義 印
 （教育部会長 谷 端 隆）

記

<p>事業の内容</p>	<p>①細河小学校校庭芝刈り機購入事業 継続事業 ②コミュニティ道路整備事業 新規事業 （細河/伏尾台協議会共同事業）</p>
<p>事業実施前の状況</p>	<p>①初年度に細小校庭芝生化事業を行った。 芝生は美しく児童にも好評だが、芝生の管理で最初は散水業務が大切となり、2～3年目は児童散水設備事業を終えた。次は芝刈り機が重要となる。 ②初めて二つの協議会協働事業である。伏尾台から久安寺側に行き来するのにバス路線を通ると30～45分かかる。中高生は久安寺側の里道坂道を通行する人が多い。大人老人も通る。現状では危険なので何とかした。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>①素人から見ると芝生は美しいので要望が多いが、専門家の意見ではその後の管理が大切で維持費がかかる。人件費はボランティアで設備や道具は機械化しボランティアの方が長続きし、何時までも美しく維持するようにする。 ②通行危険ゆえ通行禁止とするのは簡単だが、どうしても通行するなら危険が少ないようにすることが、古代からの道であります。 初めて二つの協議会協働事業です。過去に遺産として残るものを作りたい。舗装工事以外の道路下整備工事は全て協議会会員で済ませました。この工事は次年度も続行します。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>①まちづくりセミナー等で駅前公園を芝生化等を提案されるが、素人はテレビで見るゴルフ場の美しさに魅せられる。これはグリーンキーパーの管理費を考えないからです。十分に管理されていない芝生ほど見苦しい物はありません。あくまでもボランティアの人件費が無ければ出来ません。 ②協議会の温度差をなくすように何回も打ち合わせ会を持たねばならない</p>

平成24年 5 月 31日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
代表者名 金子昌義




記

事業の内容	①細河まつり“11” 観光部会 継続事業 ②市民市民体育大会 教育部会 継続事業
事業実施前の状況	①例年どうり細河小学校区で盛大に行われた。 2か月前から細河まつり実行委員会で何回も打ちあわせ会がもたれた。 小中の現役児童とその卒業生が楽しみにしており、模擬展出店の準備 等でコミュニティの輪が広がっている。 ②児童数の減少でこじんまりしているが、卒業生や父兄の参加で何とか 健康的に行われている。
事業の効果	①7月30日盛大に行われた。今年は前日の降雨で余野川の水かさが増え 残念ながら、子供たちの楽しみにしていた“魚つかみ大会”が中止となった。 その他の行事は例年通り順調に行われた。協議会関係参加者は8名。 ②好天に恵まれ例年通り盛大に行われた。協議会関係参加者6名。
今後の課題	①各町自治会、実行委員会、子供会、地元消防団、の皆さんの何回もの 打ち合わせ会と前日準備/翌日の後片付け業務が多いが、参加者の笑顔 を見て今年もやってよかったと満足感を得た。 毎年のことだが、野外の模擬店準備には材料の仕込みが頭が痛い。 ②体育祭は健康的で模擬店もなく整然と行われた。後片付けには運営委員 の皆さんがてきぱきと行われた。

平成24年5月 31日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 金子昌義 
 （地域観光部長 山脇英生）

記

事業の内容	①細河フェア開催(1月23日開催) 継続事業 <i>観光ふれあい</i> ②散策道路の整備 貴族事業 <i>散策道</i> ③細河フェア ふれあい動物園 新規事業 <i>観光ふれあい</i>
事業実施前の状況	①細河の活性化と“都会に近い豊かな自然”を見て貰う事を主眼として細河をPRするように計画した。 ②五月山散策道の整備(中川原から日の丸展望台) 裏五月山コース 道路標識と案内地図は設置/作成済み ③細河フェアで各自散策に出るとメイン会場である細河小学校校庭がさみしくなり帰宅する客が多い
事業の効果	①今年も関大生と協働企画で計画し、ウォークラリー・細小金管クラブ演奏・地元和太鼓演奏・久安寺見学ツアー等バラエティに富んだイベントを計画 ふれあい動物園には小さいお子さんには大好評で客数も400名を超えました。 ②五月山散策道はかなり急こう配ですが、山好きには興味あり参加者は10名。事前に倒木等の整備は済ませておきました。前日の雨で危険に付き介護役人数もこれ以上はあてられません。 ③細河広しといえども正式な駐車場が無い。今回は園芸センター駐車場を来客用に配置したので不法駐車の影響はなかった。 ④久安寺見学ツアーは好評でお客様の満足を得られた。久安寺さんも協力され拝観料を無料にして下さった。
今後の課題	①会場がすべて野外であるので、全てを晴天を期待して計画している。万一雨天の場合は計画が全てオジャンになるので大きな会場が必要である。将来的には観光バス10台・普通車100台位で駐車場と野外ステージ的な会場を作りたい。狭い池田では細河しかないと思われる。 ②現会員は創設以来、協議会活動をしてきた。いささか疲れたという感があります。さて次の世代に引き継ぐとしても候補者が見つかりにくい。後継者が手当てできないの退会するような無責任なことは出来ない。

平成24年 5月 / 日

事業の評価書

池田市長 殿

平成24年5月31日

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 金子昌義 (印)
 (住宅環境部会 巽 博一)

記

事業の内容	①防犯街路灯設置(LED灯とブルーライト) ②細河の自然を守る事業(ホタル育成・炭焼釜・関係先視察) ③久安寺川堤八重桜防植樹事業	継続事業 継続事業 新規事業	ブルーライト
事業実施前の状況	①農作物の育成に被害が有るという理由で白色街路灯の設置が農家から拒否され、影響の無いブルーライト防犯灯設置を進めてきた。当初は違和感で敬遠されたが、だいぶ慣れて増設の要望も増えてきた。 ②ホタル育成は昨年夏の集中豪雨でほとんど流された。宝くじ助成金で炭焼釜(250万円)の申請をして昨年度末認可された。 ③細河は植木産地なれど桜が少なく、住民が憩える場所が無い。		
事業の効果	①従来のブルーライト蛍光灯が生産が中止となり、新型LED防犯灯のみとなり価格的に相当高騰した。予算内では設置本数は減ったが新型は違和感が少なく抵抗なく受け入れやすくなった。 ②ホタル群生場所の草刈り作業・底地整地を行い、カワニナ(ホタルのえさ)を散布した。本年5月末からホタルが乱舞している。炭焼釜が寄付され、炭用材料の為里山管理で竹藪伐採。炭焼試験的に開始予想以上に良質の炭が出来、販売先を開拓しなければならない。更に燻製製品も加工し品の範囲を広めていく。泉大津市エタノール工場視察。原材料の里山から出る枝切り材料が必要 ③R173沿に八重桜を植樹し、将来の細河の名所としたい。植樹事業について細河植木塾の方々に東山バス停見本庭園との調和で大きな協力を得た。		
今後の課題	①R173整備事業と合わせて、川沿いの民地で所有者の了解を得られれば八重桜の植栽を認めるとのことで炭焼敷地にも植栽した。散策道の機能を確保 ②炭焼工房の加工品の販売先の確保 里山管理としての伐採業務の人的手配の問題 ③自然管理としての業務は協議会とかNPO法人だけでなく行政との共通の計画を建てて取り組まなければならない。		

平成24年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
代表者名 金子昌義 (印)
(販売部会長 柏木博)

記

事業の内容	①毎週土曜日朝市で地元野菜を販売 継続事業 ②道の駅 研修ツアー 継続事業
事業実施前の状況	①3月11日の東日本大震災の影響で地元野菜が見直され来客数は一時的に増えたが、今年の異常気象で農作物の生育が悪く生産量が減った。 ②将来的に小さい道の駅的な場所がほしい。 植木産業の売れ行き不振だが、細河には土地はある、何か活用したい。
事業の効果	①売上額は減ったが、固定客が増えた。 品質を評価してくれる客は毎回訪問してくれる。 出荷者が競って品質面も包装体裁も向上した。 テント張りを常設できたので雨天も心配せずに販売できた。 ②各地方の道の駅を視察見学し、自分の地区に見合うサンプルを模索。 大規模な店舗は立派な建物が出来ており、ほとんどがJAか行政が費用を出しているが、将来いずれが費用を出してくれるか別として理想的な店舗を自分なりに頭で描くようになった。
今後の課題	①細河には温室栽培等の物はなく、全て自生栽培である。従って夏場と寒冷期には極端に野菜類の生産が少なくなる。これは元来この土地が植木産地であるため、この寒冷地が松等に適するのである。 野菜類が安定して販売できるようになると、計画生産や生花類の生産も期待できる。 ②現在野菜類を生産してくれているのは60代の婦人が多く、その後の後継者としてはその娘や嫁となるが、若い人たち畑仕事より勤めに行く方が多いので後継者が心配である。

柏木博

平成24年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 金子昌義 印
 (福祉部長 法貴啓子)


記

事業の内容	①高齢者への配食弁当の宅配業務 ②メタボリックシンドローム予防教室	継続事業 継続事業
事業実施前の状況	①現在は週2回(水・金)弁当を配食している ②昨年度に引き続き行った。 昨年度は細河コミセンで単独で開催した。	
事業の効果	①配食弁当申込者は現在564名になった。 季節ごとにしおり短冊を添えて気持ちが和むようにしている。 配達ごとに声かけを行い体調を訪ねてコミュニケーションをとるよう心がけている。 大阪狭山市から地域分権の宅配弁当の実態等を当地へ来て講演してほしいとの依頼がHPを通じてありました。 ②今回は細河フェアと同時開催で、参加者が都合がよいと思いましたがフェアにお客さんを取られました。次回は単独で開催しますが、参加された人は講師の方の話を聞き為になったとの感想でした。	
今後の課題	①現在配食弁当の調理場を人権センターを使わせてもらっています。 今年秋頃から人権センターの改修工事に入るため六カ月使用できません。 その間の配食調理場をどこにするかが問題です。 工事期間中、配食を中止すると高齢者も困るし、賛助会員も離散し再度、再開するのも支障が有りますので続行したい。 ②細河幼稚園の現在空き教室を使用する計画が有ります。 調理場の設備費は協議会にはなく、人権センター改修費の一環として市役所公費としてお願いしたいと思います。 人権センターでは他の使用者からの都合を考えねばならないので改修後もずーと幼稚園使用可能ならばそれなりの設備をお願いしたい。	

事業の評価表

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会

代表者名 金子昌義  印

(広報部 部長 西野佳彦)

記

事業の名称	①広報誌の発行(年2回) ②ホームページの更新(毎月) ③フォトコンテスト(細河の四季)1年間	継続事業 <i>工芸誌</i> 継続事業 <i>HP更新</i> 新規事業 <i>細河の四季</i>
事業実施前の状況	①第8号 23年7月1日配布(2000戸) 協議会活動の紹介記事・地域の神社仏閣の紹介記事・ ②地域の住民だけでなく、市街の住民にイベント内容を紹介 ③1年間を通じて細河の自然を撮影してもらい作品を提出	
事業実施後の状況	①広報部会員の取材活動で協議会活動の意味を地域に広めた。 神社仏閣の神主/住職に正しい歴史背景を取材し読者に広める。 ②まだまだ浸透していないが、浜松市・狭山市から地域分権の視察・講演依頼 ③年間を通じて来訪者が増え、自然の魅力を撮影した作品36点応募あった。	
事業の効果	①地域分権活動の認知度を高めた。久安寺敷地の一部にグランドゴルフ場を 設置・炭焼工房作業場として個人土地を貸してくれる協力者が出てきた。 ②地域分権活動は全国的で問合せや視察見学・具体的な活動としての講演の 依頼申し込みがあった。協議会の方としても説明に際し、かなり準備勉強を せねばならず効果は大なる点が多かった。 ③グランドゴルフコート・炭焼工房土地の住民からの使用依頼は、協議会会員の 日頃の活動が地元の認識を高め地域全体の意識を高めている。	
今後の課題等	①広報部会員はほとんど創設当時のメンバーが継続している点は、業務にも 慣れて比較的スムーズに進行している。ただ内容がマンネリになりがちで 新しい魅力ある内容に変えねばならない。 ②次の世代に継ぐために新しい会員の加入に問題がある。	